

R5 6月28日(水) 対話的な校長講話 結果と抜粋

「あいさつ②」のお話 抜粋(急に入れてもらいました)

(校長 対 全校児童 ではなく 児童 対 児童の形を取り込んだ校長講話にチャレンジ)

前回は大谷翔平選手・塩沢勝吾元選手のお二人の目標設定からあいさつについての意識の高さについて話しました。今回は全校の皆さんのあいさつについての話です。

① 「みんなの朝のあいさつ」…昇降口でのあいさつの声が増えてきました!



地域や育成会の方々も挨拶当番に出てくださいました。

みんなはあいさつについてどう思っているのでしょうか?

② ペア学年の友達と名前を言ってからあいさつについて話してみましょう。

456年生からあいさつについて聞いてみよう!

隣を向く。ペアの名前を互いに確認。「お願いします」で始め、「ありがとう」と言って終わりにする。

1) あなたは いつも あいさつをしていますか?

2) 長小学校は、いつも元気なあいさつが聞こえてくる学校だと思いますか? あいさつがひびく学校ですか?

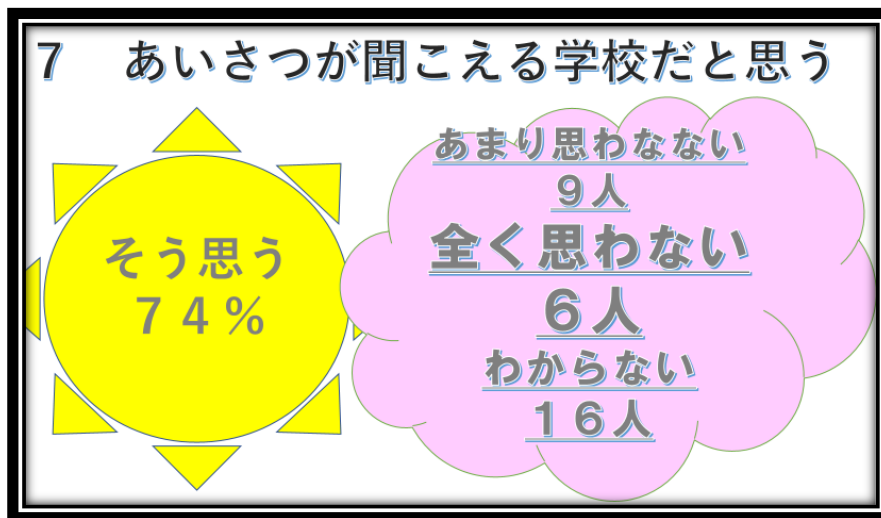
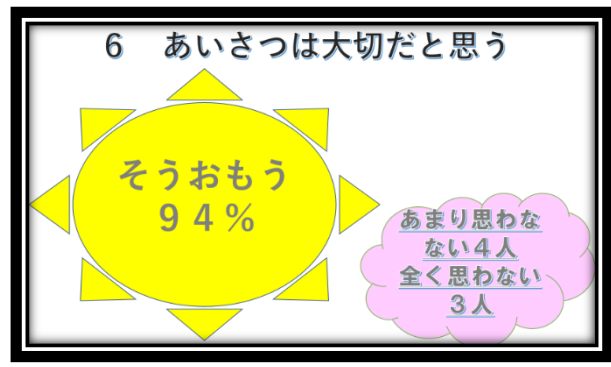
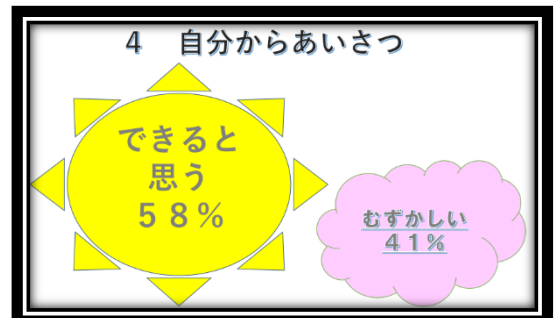
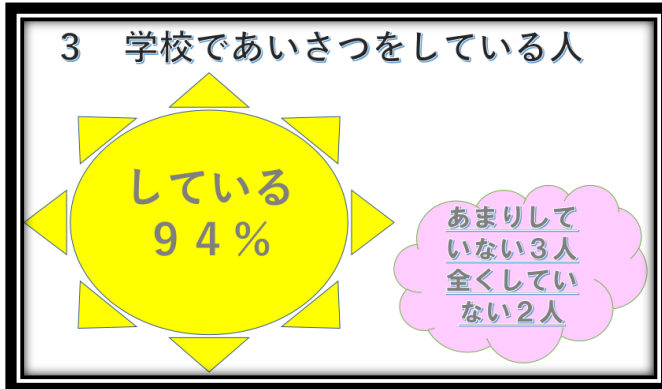
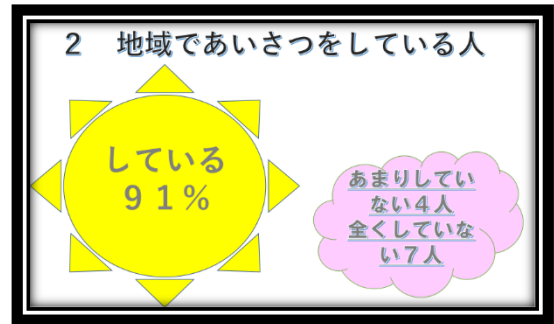
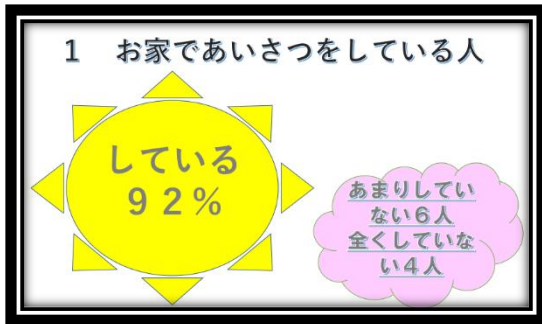
3) これからも (は) あいさつをしたいと思いますか?

123年生もきけたらきこう (あいさつについてききたいことをきく。)

ペアとの話の中から、「あいさつがひびく学校ってどんな感じですか?」という質問がありました。「おはよう!おはよう!おはよう!」って連続していく感じかな……。ペア同士で話す機会が少ない中、実際に低学年や高学年の子供たちの顔を見合いながら、やや緊張しながらも正直に話しかけ答えている姿が印象的でした。



③ 全校児童によるアンケートの結果



あれ?もっとたくさんいると
思った。

まだまだあいさつが聞こえる
学校にできそうですね。

今日はお隣さんとあいさつについて話し、日頃のあいさつについて振り返る時間になりました。今後さらにあいさつが響く学校になっていくことを期待しています。